松本市少年軟式野球連盟　試合規程

◎試合規則　　全日本軟式野球連盟公認野球規則ならびに大会規程で行う。

〇試合回数　　６イニング
ただし、大会進行の関係で、５イニングに変更する場合がある。

〇コールド　　５回以降７点差コールド（全試合）
ただし、大会によりコールドゲーム規程を追加することがある。

〇試合時間　　１時間２０分を超えて新しいイニングには入らない。
ただし、大会毎、天候、日没等により試合時間を変更することがある。

〇試合成立　　降雨、雷鳴、日没等の天候状態も含め、５回成立以降に適用する。
５回以前に中止となった場合、特別継続試合とする。

〇雷鳴の対応　　雷鳴が聞こえた場合は、即試合を中断し安全な場所に避難し待機する。
会場責任、審判団にて、試合中断、続行、中止について判断をする。

〇最終回宣告　　その回の表攻撃に入る時に【最終回である】旨の宣告が球審から両チームに
伝達される。たとえ試合時間が残っている状態でも、その回を最終回とする。

〇投球数制限　　１人の投手は１日７０球以内、４年生は６０球以内とする。
試合中規程投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
肘・肩の障害防止を考慮した選手起用を指導者に課すこととする。

〇投手再登板　　投球数制限以内であれば、１試合の中での投手再登板を認める。
ただし、試合時間に対して遅延行為とみなされる場合は認めない。

〇申告敬遠　　守備側のチームの監督が敬遠の意思を申告すると、投手が投球せずに打者は
四球とする。該当打者に投球中でも申告した時点で、四球とする。

〇タイブレーク方式（特別延長戦）
試合終了時に同点の場合は、特別延長戦で勝敗を決する。
継続打順で、前回の最終打者を一塁走者とし、その前の打者を二塁走者とする。
すなわち、０アウト一塁二塁の状態にして１イニング行い、得点の多いチームを
勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順でもう１回行う。
それでも決着がつかない場合は、抽選にて決定する。
なお、通常の延長戦と同様規則によって認められる選手の交代は許される。

〇ベンチ　　ベンチ内は監督、コーチ２名、代表者、スコアラーの大人５名と登録選手が入ること
が許される。それ以外のベンチ入りは認めない。
※ライセンスを取得した指導者がベンチに最低１名いることが望ましい

〇選手　　大会毎に定める選手名簿を大会前、または試合前に提出する。
選手名簿に記載され背番号が付いている選手が試合に出場できる。

○抗議　　監督または監督代行者のみとする。
監督または監督代行者以外がベンチより出ることは許されない。

○投手交代　監督やコーチが１イニングに同一の投手のもとへ２度行くか、行ったとみなさ
（5.10ℓ(2)）れた場合は、自動的に投手を交代しなければならない。は 2025 年より適用しない

○守備側の　監督やコーチが１試合に投手のもとへ行ける回数は３回以内。特別延長戦は１イ
タイム回数ニングに１回行くことができる。ただし、投手交代の場合は回数に含まない。
上記は投手のもとに２名以上の野手が行く場合も３回以内とする。

○緊急処置　思わぬアクシデント（死球、走塁時の負傷、守備での負傷）等の場合は緊急処置として、臨時代走、臨時打者、臨時守備としての選手を一時交代させることができる。負傷等が治癒した場合には、再び試合に出場することを認める。臨時選手を出場させる場合には必ず球審に申し出ること。

○用具
- 試合に出場する捕手、およびブルペンの捕手は、ファウルカップを着用すること
- 一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を 2025 年より禁止する。なお、一般用バットであっても、上記以外の木製・金属製・カーボン製・複合（金属／カーボン）バットについては、使用制限を行わない。
- 試合前に「JSBB」「軟式少年用」のマークがあることを担当審判が確認をし、上記の禁止バット、マークがないバットは試合で使用することができない。

○連盟特別規程
- ＤＨ制度　より多くの選手に出場機会を与えるためＤＨ制を採用する大会もある。
採用する大会は規定として大会毎に通知する。
※「少年部（学童・少年）における指名打者制度」についても同様とし、採用する大会は規定に記載する

- 牽制暴投　投手の牽制による暴投がボールデットになった場合、投手板を踏んでいたか否かに関わらず、一つの進塁とする。

○大会規程　当試合規定から変更がある場合は、大会規定として事前配布をする。
監督会議がある場合は、連盟審判部より説明し確認をする。

○注意事項
- 相手チームを誹謗するようなヤジは厳に慎むこと。聞くに堪えないヤジについては審判団が厳重に注意すること。応援団は自軍の選手についてのみ行うことが望ましい。
- 開会式には試合に出場する全選手が参加すること。体調不良などの不慮の場合や学校・地区行事の場合を除き、開会式に参加しなかった選手は試合に出場することはできない。
- ベンチに入る指導者の試合中のサングラス使用については原則として禁止する。眼病等でやむを得ない場合は、事前に大会本部に申し出の上、許可を得る。
- メガホンのベンチ持ち込みは、１個のみとし監督・コーチのみ使用可とする。